

「エコバックスジャパン 事業戦略・新製品発表会」イベントレポート

最高の清掃体験を実現する、全てにおいて業界初目白押しの”最高レベルの新製品”
「DEEBOT X2 OMNI」お披露目に…

公式アンバサダー**内田有紀**さんが登場！

ブラックの華麗なドレスで登壇し、
「サイナスと名付けました」と新製品の魅力を紹介

研究開発から製造、販売まで一体化したサービスロボットの総合メーカー・エコバックスジャパン株式会社(本社:東京都品川区/代表取締役社長 坂梨文康)は、新製品「DEEBOT X2 OMNI」の発売に伴い、「エコバックスジャパン 事業戦略・新製品発表会」を2023年9月12日(火)にベルサール飯田橋ファースト ホールAにて開催しました。



発表会冒頭では、エコバックスジャパン株式会社代表取締役社長の坂梨文康よりエコバックスグループの歴史や、最上位シリーズである「Xシリーズ」の特徴について説明した後、新製品「DEEBOT X2 OMNI」をお披露目。製品メッセージや3つのキーポイント、更に日本に先駆けて発表した新製品「DEEBOT X2 OMNI」のグローバル市場での反響を説明しました。

続いて、エコバックスジャパンの公式アンバサダー且つ、エコバックス製品の愛用者でもある女優の内田有紀さんをお招きし、マーケティング本部長の下森龍二とともに新製品「DEEBOT X2 OMNI」の機能や魅力を紹介いただきました。更に、その後のトークセッションパートでは、内田さんに新製品「DEEBOT X2 OMNI」にちなんだテーマ「これからとり着きたい自分の姿」や「内田さんが誰にも負けない〇〇力」を基にトークを行っていただき、新製品「DEEBOT X2 OMNI」を心待ちにしている方々に向けたメッセージで会を締めくくりました。

【オフィシャル素材ダウンロードURL】共通PASS: ecovacs

- ・イベントオフィシャル素材[スチール]: bit.ly/3qWucmf
- ・イベントオフィシャル素材[ムービー]: bit.ly/3QXBbph
- ・発表会スライド(製品概要)、製品リリース: bit.ly/486BIRQ

※大変お手数ですが上記URLにアクセスし、ダウンロードをお願いします。

エコバックス製品愛用者の内田有紀さんとマーケティング本部長下森によるクロストーク “最高の掃除体験”を実現できる新製品「DEEBOT X2 OMNI」の特徴を紹介

会の冒頭では、代表取締役社長の坂梨から、エコバックス史上最高峰のスペックを誇る「Xシリーズ」の中でも“最強”と謳われた『X1』、その更に上を行く進化を遂げたのが、今回登場する『X2』であると、製品への期待が高まる中、アンバールで新製品「DEEBOT X2 OMNI」がお披露目されました。

続いて、公式アンバサダーであり、エコバックス製品の愛用者でもある内田さんと、マーケティング本部長の下森龍二が登壇し、新製品「DEEBOT X2 OMNI」の機能や魅力を紹介いただきました。

まずは、「DEEBOT X2 OMNI」の最大の特徴であるスクエア形状について、内田さんからは「壁の端にフィットする形で、さらに綺麗に掃除できるようになっているんです。家で使ってみたところ、スムーズに掃除している様子にわくわくして、どこまできれいになるんだろう？と後に付いて行って確認してしまいました。」と、興奮した様子で、これまでのロボット掃除機の常識を覆すデザインの感想を語っていただきました。

更に、“清掃力”をとことん追求し、“最高の清掃体験”を提供する「DEEBOT X2 OMNI」の最先端テクノロジーの説明に興味深く耳を傾け、レベルアップした技術に感動している様子でうなずき、興味を持って聞いていただきました。中でも内田さんの気に入っているポイントについて、「内蔵のカメラを使って部屋の様子や音声通話ができるので、ペットや家族の様子を見ることができるようなんです。アプリを使って会話ができるというのが、すごくいい機能だなと思います。防犯としての役割も期待出来て、掃除だけでなく何役もこなせるので、どこまで進化していくのだろうと感心しています。」とコメント。また、一足先にご使用いただいた感想も踏まえながら、「家事の負担を減らし自分の時間を持てるというのが、今の時代にフィットする形で進化していると思います。」と、改めて製品への理解と愛が深まった様子でした。



内田有紀さん これからたどりつきたい自分の姿は 「素直に受け入れて、迅速にスムーズに対応できる自分」

続いて、新製品「DEEBOT X2 OMNI」にちなんだトークテーマを元に内田さんの素顔に迫るトークセッションを実施しました。

新製品「DEEBOT X2 OMNI」のカラーであるブラックの華麗なドレスを纏った内田さん。衣装について「X2に合わせてシックなモダンで黒いラグジュアリーなものを用意しました」と気に入った様子でご紹介いただきました。また、「これが最強の清掃力 たどり着いた、この形」という製品メッセージにちなみ、「芸能生活30年を迎え、これからたどり着きたい自分の姿」について聞かれると、内田さんは「年齢を重ねると頑なになってしまう自分がいるのですが、人の要望に応えてくれるX2を見習って、信じている人の言葉を素直に受け入れて、迅速にスムーズに対応できる自分になりたいです」と生き生きとした表情で、未来の自分の姿や今後の活動について語っていただきました。

続いて、「最高の清掃力」という製品コンセプトにちなみ、「内田さんが誰にも負けない〇〇力」について聞かれると、「『転換力』です。自分はネガティブなことがあったとき、お笑いをみてネガティブを引きずってしまう自分の心を前に向けるように心がけています」と回答。最近プライベートでお笑いライブを観に行ったというエピソードを語り、普段の内田さんからは想像できない意外な一面を披露しました。

また、普段から名前を付けて製品を愛用しているという内田さんに、X2にどんな名前を付けたか質問すると、新モデルには「サイナス」という名前をつけていると回答。『ドクターX』で毎年秋にこの4文字の言葉を言っていたので名付けました」と内田さん自身が麻酔科医役を演じられた際の決め台詞を披露しました。

最後に、新製品の発売を待ちわびている人に向けて「掃除ロボットが世に登場した頃から、比べ物にならないくらいどんどん性能がアップしています。掃除が自分の手から離れ、その分自分の時間を有意義に過ごす時代になりました。新しいX2とともに、自分の思いをかなえるためへの時間を増やしていただけたら嬉しいです」とメッセージをいただき、会は終了しました。

実施概要

- タイトル : エコバックスジャパン 事業戦略・新製品発表会
- 日時 : 2023年9月12日(火)13:00~14:00
- 場所 : ベルサール飯田橋ファースト ホールA
- 登壇者 : エコバックスジャパン株式会社 代表取締役社長 坂梨文康
エコバックスジャパン株式会社 マーケティング本部長 下森龍二
- ゲスト : 内田有紀さん



ゲストプロフィール

【内田有紀】



【生年月日】1975年11月16日生

【年齢】47歳

【出身】東京都

1992年、TVドラマ「その時、ハートは盗まれた」で俳優デビュー。
シングル「TENCAを取ろう！～内田の野望～」で歌手デビューを果たし、オリコン史上初の女性ソロ歌手デビュー曲初登場1位を記録。
以降、フジテレビ系ドラマ『踊る大捜査線』シリーズ、テレビ朝日系ドラマ『ドクターX～外科医・大門未知子～』シリーズ、NHK連続テレビ小説「まんぷく」、WOWOW『連続ドラマW フィクサー』などに出演。

製品概要「DEEBOT X2 OMNI」



【デザインの革新:丸から四角へ。隅々まで清掃可能な「スクエア形状」】

「DEEBOT X2 OMNI(ディーボット・エックスツー・オムニ)」の本体は、お部屋の隅や角にもフィットする最先端のスクエア形状を採用。ヨゴレやホコリを取り逃さない新構造を実現しました。また、ソファ・ベッド・テーブル・椅子の脚の下など、高さのないスペースや狭い場所も自在に走行できる業界最薄*1のスリムボディで、手の届きにくい場所もきれいに掃除します。

清掃範囲を拡大するために各パーツの位置や形状も進化。メインブラシの幅はこれまでの16.8cmから20cmまで大きくなり、モップ位置はこれまでより1.5cm外側に配置*1することで、より広範囲を清掃できるようになりました。

*1:DEEBOT X1 OMNIとの比較

【最先端AIテクノロジー:業界を牽引。エコバックス独自の最新AI技術を搭載】

マシンラーニングにディープラーニング・強化学習が加わり、さらに強化されたエコバックスが新開発した独自のAI技術「AINAモード」を搭載。業界初のマッピング技術「Dual-Laser Lidar」は、本体内部に2つのレーザーセンサーを用いて210度の広い視野を実現しています。また、多くのロボット掃除機に使われているLDS技術よりも反応速度が24倍速く、さらに、AINAモードと組み合わせることで、より正確に部屋の間取り、家具の位置、部屋の中の自分の位置までもリアルタイムに把握することが可能となり、死角のないマッピング技術となっています。

【究極のハンズフリー:吸引・水拭きからクリーニングまで、掃除の一切の手間から解放】

業界一を誇る8,000Paの吸引力で、カーペット内の微粒子や隙間のゴミ、ホコリを残すことなく素早く吸引します。また、耐久性に優れた「ゴム製メインブラシ」を採用することで、髪の毛の絡まりを解消し、ラグやカーペットなどのあらゆる場所をなめらかに掃除可能です。また、カーペット環境を認識すると、自動的に水拭きモップパッドを持ち上げ、フローリング部分の吸引、水拭きとカーペット部分の吸引を一度に行います。史上最高のモップリフト1.5cmを実現し、厚手のカーペット上を清掃する際も、水拭きモップを取り外す必要がありません。掃除環境に気遣わなくてよい、本当の意味での「家事から“掃除がなくなる”生活」が実現します。

企業情報:エコバックス

エコバックスは、家庭用ロボット掃除機をはじめ、業務用ロボットに至るまで、それらの研究開発、生産、販売を一体化したサービスロボットの総合メーカーです。

日進月歩のロボット掃除機市場では、次々に新しい製品や技術が飛び出しますが、当社は、こういった激しい競争の中で、2023年4月時点の株式時価総額は約8,600億円に到達し、売上高1,650億円※1と、ロボット掃除機市場で、常に世界をリードする存在として歩んでまいりました。

2023年3月で25周年を迎え、現在世界145以上の国と地域で販売、2,500万人以上にご愛用いただくグローバルブランドです。

※1:3,200億円がECOVACS Group、1,650億円がECOVACS Robotics Co, Ltd
1ドル:146.7円(2023年9月11日現在)



【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

「エコバックスジャパン 事業戦略・新製品発表会」事務局(株式会社マテリアル内)
TEL:03-5459-5490 / FAX:03-5459-5491 / MAIL: bp2t@materialpr.jp
担当:中山(070-8792-1095)、和田(070-4540-7713)